

## ▼リンラキサー錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 クロルフェネシン カルバミン酸エステル Chlorphenesin Carbamate 【分類】 筋緊張性疼痛疾患治療剤

【単位】 ▼125mg・▼250mg/錠

【常用量】 750mg/日

【用法】 1日3回

8週までの試験しかない

【透析患者への投与方法】 設定されていない [慎重投与] (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 腎障害患者には慎重投与 [The United States DISPENSATORY, 27th Ed. 301 (1973); MARTINDALE The Extra Pharmacopoeia, 26th Ed. 1891 (1972)] に注意して投与せよと記載されたことがありこれに準拠 (1)

【特徴】 脊髄における多シナプス経路の介在ニューロンの選択的抑制と筋紡錘活動抑制により筋弛緩作用を発現する。中枢系の副作用が少ない。

【主な副作用・毒性】 ショック, TEN, めまい, ふらつき, 眠気, 頭痛, 脱力感, 倦怠感, 消化器症状, 発疹など

【安全性に関する情報】 自動車運転等禁止 (1)

【モニターすべき項目】 長期間投与する場合は臨床検査 (血液検査, 尿検査及び肝機能検査等) を行うことが望ましい (1)

【吸収】  $ka=9.75/hr$  (1)

【F】 資料なし (1)

【 $t_{max}$ ] 1hr (1) 【 $C_{max}$ ] 250mg 経口投与時  $3.62 \mu g/mL$  (1)

【代謝】 グルクロン酸抱合体, 硫酸抱合体, 酸性代謝物に変換 [animal model] (1)

【排泄】 尿中回収率 92% で 84% が未変化体のグルクロン酸抱合体 [po, 24hr まで] (1) 【CL/F】  $10.30 mL/hr$  [po] (1)

【 $t_{1/2}$ ] 3.7hr で、これは肝臓循環の影響を受けている (1)

【蛋白結合率】 資料なし (1)

【Vd/F】  $61.86 L/man$  [po] (1)

【MW】 245.66

【透析性】 資料なし (1)

【O/W 係数】 4.82 [クロロホルム/水] (1)

【相互作用】 中枢神経抑制剤, MAO 阻害剤, アルコール: 相互に作用を増強するおそれ (1)

【更新日】 20231129

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。